

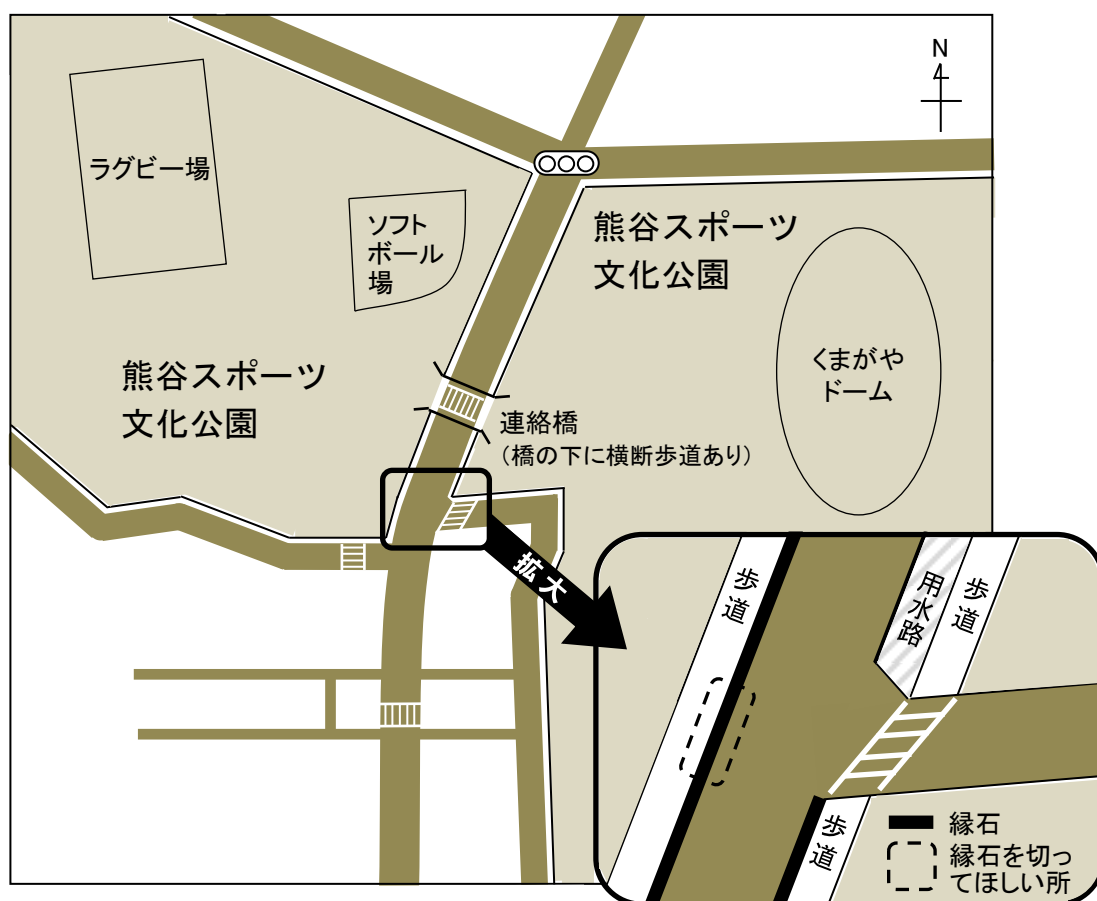
成田小学校区ハートフル・ミーティングの概要

- 1 日時 平成 25 年 8 月 24 日（土）午前 9 時 30 分から 11 時 30 分
- 2 場所 成田公民館
- 3 参加者 61 人
- 4 会議の概要

（1）便利で快適な人にやさしいまち（主に都市計画）

市民

熊谷スポーツ文化公園の連絡橋の南にある丁字路についての要望です。歩道を通る歩行者や自転車が道路の反対側にある歩道へ渡りやすいように、縁石を一部切ってもらえませんか（略地図を参照）。既に何度も市の担当課に相談に行きましたが、聞き入れてもらえません。この道路ができてから、もう随分と年数がたち、車の流れも増えましたし、人の流れも変わっていると思います。地元の意見を尊重して、もう一度検討してもらえませんか。



市長

ここに来る前に現地を見てきましたが、確かに縁石を切ると道路を渡りやすくなると思います。ただ、お話のとおり、車の交通量も増えておりますので、あの場所で道路を渡るのは、安全上問題があるようにも思えます。最近の交通安全対策の傾向としては、国道 407 号線のバイパスでもそうですが、中央分離帯の縁石が切れている所を埋めていくような方向にあります。いずれにしても、後日、担当から改めて御説明をさせていただきます。

市民

平成 24 年 4 月に、朝晩の交通量が激しいスポーツ公園通りを渡る通学路に横断歩道を設置してほしいという要望を成田小学校経由で出しました。しかし、その後の連絡が全くありません。聞くだけ聞いて、後はそのままという対応は、非常に不満です。

市長

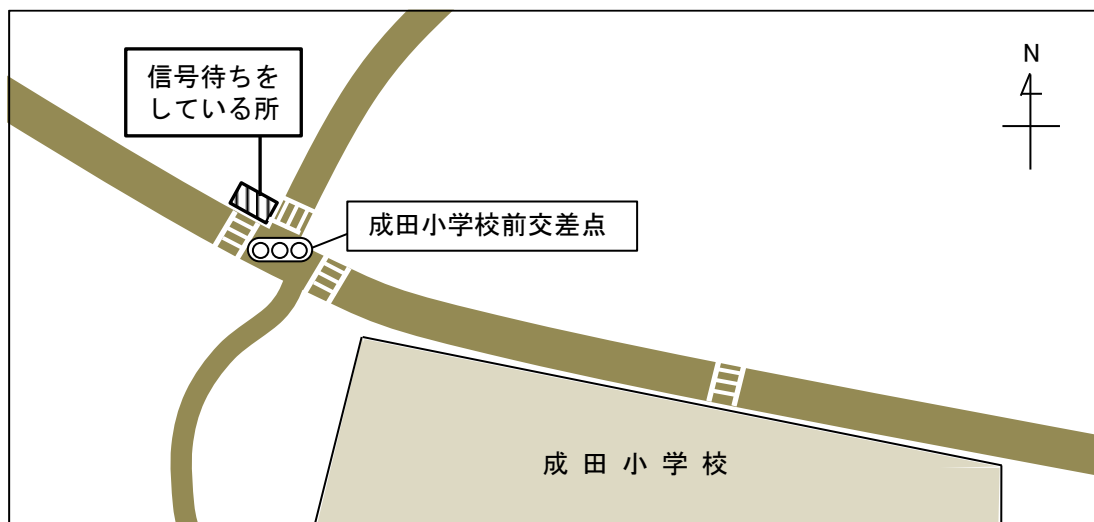
御要望に対する回答ができずにおりましたことに、お詫びを申し上げます。今後、学校経由で頂きました御要望に対しては、学校を通じて回答をさせていただきます。

なお、今回御指摘を頂いた場所については、現地を確認した上で横断歩道を設置する権限のある警察署に相談をしましたところ、限られた予算の中、歩行者の数などを踏まえて県内全体で優先順位を付けながら交通安全対策に取り組んでいるため、横断歩道の設置は難しいとのことでした。



市民

成田小学校前交差点で毎朝子どもたちが信号待ちをしている場所は、私有地です。多いときには 30 人から 40 人の子どもたちがその場所で信号待ちをしています。このようにお世話になっている地主さんの所へ、校長先生からはお礼の御挨拶がりましたが、教育委員会や市の方からも御挨拶があつてしかるべきではないでしょうか。



市長

このような対応については、私の判断にお任せをいただきたいと思います。

市民

水路の脇の草刈りについて伺います。農家の方の中には自分の地先の草刈りをしてくれる方もいますが、そうでない方もいます。また、水路に面した工場などの前は草刈りができませんし、柵がある場所は立入りが危険だからこそ柵をしているのでしょうから、なおのこと草刈りができません。水路の管理は国や県、市、水利組合が行っていますが、市が管理をする水路については、是非、市で草刈りをしていただきたいと思います。

市長

御案内のように、水路は利用形態によって管理主体が異なり、コンクリート護岸など構造物の管理は各管理主体が行っていますが、草刈りは地元の皆さんにお願いをしております。行政で対応をするには財政的な限界もありますので、できるだけ今と同じようにお願いをしたいと思っておりますが、地域の方の高齢化などでどうしても難しい場合には、個別に対応を考えていきたいと思っております。また、農林水産省の「農地・水保全管理支払交付金[※]」という制度がありますが、こちらの地域では利用されていますか。

※ 農地・水保全管理支払交付金

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kankyo/nouti_mizu/

別の市民

平成24年度まで利用していましたが、そのために必要な組織の役員を引き受けてくれる方がいなかったため、今は利用していません。

市長

草刈りなどの人件費は「農地・水保全管理支払交付金」の支払対象になりますし、市内での利用例も多くありますので、是非、また御利用いただけるように地域内での調整をお願いできればありがたいと思います。

市民

今、小学校での英語教育は、正式な「教科」としてではなく「活動」として行われています。しかし、せっかく小学校で楽しみながら学んでも、中学校で「教科」になった途端に英語嫌いになってしまう子どもたちがたくさんいます。この問題を解決するために、私も、J-SHINE^{ジェイ シャイン}[※]というNPO（特定非営利活動法人）の認定を受けた講師に是非お手伝いをさせていただきませんか。

※ J-SHINE（小学校英語指導者認定協議会）

<http://www.j-shine.org/>

市長

J-SHINE のことは初めてお伺いをしましたので、まずはよく調べて、改めてお返事をいたします。ただ、学校教育に関わることを教育委員会抜きで進めることはできませんので、その点は御理解を頂きたいと思います。

(2) だれもが安心して健康に暮らせるまち（主に高齢者施策）

市民

先ほど福祉部長から「地域包括支援センター※」の説明がありましたが、利用者はどのぐらいいるのでしょうか。

※ 地域包括支援センター

<http://www.city.kumagaya.lg.jp/faq/7/154/faq27.html>

福祉部長

熊谷市内には地域包括支援センターが 5 つあり、成田地区の包括支援センターでは、平成 23 年 7 月現在で大体 200 人ぐらいです。

市民

平成 23 年 5 月に「災害時要援護者登録名簿※」が自治会長や民生委員に配られましたが、名簿の運用方法について、満足のいく説明がありませんでした。そこで、同年 10 月のハートフル・ミーティングで、改めて説明会を開いてほしいというお願いをしたところ、「平成 24 年度中に説明会を開催します」との回答を頂きました。それなのに、いまだに開催されていません。また、この間に亡くなった方もいれば、転居をされた方や、新たに援護が必要になった方など、名簿の内容にも変更が生じていると思います。

※ 災害時要援護者登録名簿

<http://www.city.kumagaya.lg.jp/kakuka/fukushi/fukushi/oshirase/youengosya.html>

市長

関係する皆様に御迷惑をお掛けしましたことに、お詫びを申し上げます。平成 24 年 6 月に災害対策基本法の一部が改正されたり、名簿に地図情報を付けるようにしたりしたことから、準備に時間がかかっております。現在、平成 25 年 7 月現在の情報をまとめた名簿を作成しておりますので、第一段階としてその名簿をお渡しさせていただき、続いて地図情報も入った名簿をお渡しさせていただきたいと思います。説明会については、その後に開催をさせていただく予定でおります。

市民

自治会長や民生委員が「災害時要援護者登録名簿」を持っていても、内容が個人情報のため、地域でその情報を共有することができずにいます。この

ままでは、いざというときにも十分な対応が取れません。

市長

災害対策基本法の一部改正により、御本人から事前に了解が得られれば、自主防災組織など地域の方に情報を提供できるようになりました。しかし、了解が得られない場合には、その方の情報を地域に提供するのは、災害が起きてから、というのが現在の国の方針です。御案内のとおり、それでは現実問題として間に合いませんので、県を通じて国に確認をしていきたいと思っております。

市民

警察の発表資料を見ると、平成 24 年中に市内で一番人身事故が多かったのは上之地区で、57 件もの人身事故が起きています。事故の原因や被害者のケガの程度などの内訳を知りたいのですが、私たちには教えてもらえません。市から警察に聞いていただくことはできませんか。

市長

上之地区には国道 17 号バイパスがありますので、その関係で事故が多いのかもしれないですね。事故の内訳を教えてもらえるかどうか分かりませんが、確認をしてみたいと思います。

市民

成田小学校の通学路は、段差や縁石のある歩道ではなく、道路に白線が引かれているだけの所がほとんどです。簡単にはいかないとは思いますが、段差や縁石のある歩道を設置していただくことはできませんか。

市長

この辺りでは、道路の両側に既にたくさんの家が立ち並んでいます。歩道を造るには、そのために土地を提供していただかなくてはなりませんので、地権者の方の意向も関係してきます。市では実際にできることとして、各小学校から半径 500m 以内の通学路を中心に、路側帯を緑色に塗ったり、防護柵を設置したりといった交通安全対策を順次進めてまいります。

市民

自治会内に、自動点滅器が故障して 24 時間つきっぱなしになっている防犯灯が全体の 4 分の 1 ほどもありました。修理をしようすると、数が多いこともあり、自治会の負担も相当な額になります。市から補助を頂くことはできませんか。

市長

上限額はありますが、防犯灯の維持管理費用を補助する制度※がありますので、御利用いただきたいと思っております。詳しくは、担当の安心安全課に御確認

ください。

※ 防犯灯の維持管理費用の補助制度（熊谷市防犯灯補助金交付要綱）

http://www1.g-reiki.net/kumagaya/reiki_honbun/r193RG00000998.html#e000000170

市民

防犯灯の電気料として、一灯当たり 2,600 円（年間）の補助金が市から自治会に出ています。東京電力が電気料を値上げしましたので、補助金も値上げをしていただける予定はありますか。

市長

今年度から自治会さんへの広報紙等配布委託費を増額したところでもあり、現時点では補助金の増額は考えておりません。

市民

区画整理を進めるに当たり、予定地では発掘調査が行われていますが、何か貴重なものが見つかったというニュースは聞いたことがありません。発掘調査を縮小して、その分のお金をもっと有益な事業に振り向けてみてはどうでしょうか。

市長

これまでに行われた発掘調査では立派なものも出土していますし※、遺跡の見学会や出土品展も行われています※。また、発掘調査は、文化財保護法という国の法律で義務付けられていますので、市が制度を変えることはできません。これからも肅々とやっていきたいと思えます。

※ 出土品・遺跡について

<http://www.kumagaya-bunkazai.jp/museum/frames/syutudo.htm>

※ 遺跡の見学会や出土品展について

開催の御案内は市報やホームページなどで随時お知らせしています。

市民

市の国民健康保険で人間ドックが受けられる医療機関は、市内にある所がほとんどです※。定年退職をする前に会社で利用していた市外の医療機関でも人間ドックを受けられるようにしていただけませんか。そうすれば、これまでの 10 年から 20 間年にわたる診断結果が有効に活用できます。

※ 熊谷市の国民健康保険で人間ドックが受けられる医療機関

<http://www.city.kumagaya.lg.jp/kurashi/tetsuduki/kenkohoken/hokennenkin.files/h25siteilst.pdf>

市長

この点については、よく調べてから、改めて回答をさせていただきます。

(3) 地域活動等の報告

市民

成田小学校の「おやじの会」では、在校生や卒業生の親を中心に、20代から60代までの大人が集まって、幅広い活動をしています。ちょうど今日も、成田小学校で子どもたちとキャンプファイアを行っています。消防署の方に講師をお願いして防災について学んだり、ゲームやキャンプファイア、フォークダンスをしたりします。また、希望者は小学校で宿泊もします。今回で4回目となるこの催しは地域の新たな伝統になりつつありますので、これからも頑張っていていきたいと思っています。

別の市民

成田自治会連合会の17の単位自治会では、それぞれ平成20年度から自主防災組織を立ち上げ、毎年ほぼ100%の割合で防災訓練を実施しています。平成22年度には、各自治会合同の防災訓練を実施して、300人から400人の参加者が集まりました。段取りは大変でしたが、また実施したいと思っています。なお、市からは自主防災組織の結成時にも補助金を頂きましたが、防災訓練の実施に当たっても消耗品の購入費の補助※を頂き、助かっています。今後ともよろしく願います。

※ 自主防災組織への支援

<http://www.city.kumagaya.lg.jp/kakuka/shochoko/kikikanri/oshirase/jisyubousien.html>

○ 市長のまとめ

本日はいろいろな御意見をお聞かせいただき、ありがとうございました。

特に通学路の安全対策についての御意見を多く頂きましたが、かつての急激な人口増加に道路整備が間に合わずに残ってしまったということもあるだろうと思います。この点については、これからも市役所の中でいろいろと協議をしていきたいと思っています。また、皆さんにおかれましても、引き続き、子どもたちの日々の見守りなどの御協力を頂ければありがたいと思います。

最後にお話のありました自主防災組織に対する補助金の制度は、以前ハートフル・ミーティングで頂いた御意見を実際に市の制度に組み込ませていただいた事例の一つです。今後も頂いた御意見を行政にしっかりと取り込んで行けるように頑張っていきたいと思っています。

本日は長時間にわたって御参加を頂き、本当にありがとうございました。